

- 1 単元 住みよいくらしをつくる
- 2 指導計画 (27 時間完了)
 - (1) 暮らしの中の水とごみ、資源・・・1 時間
 - (2) 水はどこから・・・・・・・・・・10 時間
 - (3) ごみのしよりと利用・・・・・・・・10 時間
 - (4) わたしの時間・・・・・・・・・・6 時間 (本時 6 / 6)
- 3 本時の指導

(1) 目標

健康で良好な生活を支える電気の働きや、発電の方法について調べたことをもとに、よりよい発電方法や無駄のない電気の利用方法を考えようとする。(関心・意欲・態度)

(2) 情報活用能力の育成について

日本の将来における発電方法について、資料を基に考えたことを友達と交流させることで、自分の考えを広げることができる。

(3) 準備

教師：付箋紙、考え交流シート
 児童：自分の考えシート

(4) 指導過程

時間配分	学習活動	指導上の留意点
3分	1 本時の学習活動をつかむ。	○ 「考え交流シート」を活用して、グループで意見交流を行うことを確認する。
7分	2 意見交流を行う際の注意点や、付箋紙の使い方を確認する。	○ 友達が発言しているときは、書くのをやめて聞くことに集中するように伝える。 ○ 付箋紙の使い方を黒板に提示し、全体で確認して共有する。
25分	3 「考え交流シート」を活用して、グループごとに意見交流を行う。	○ あらかじめ指定しておいたグループの代表者の考えを、「考え交流シート」の円グラフに書き込むように指示する。 ○ 代表者の考えについて、賛成意見や反対意見、質問などを付箋紙に書いて交流させる。
<p>評価事項</p> <p>日本の将来における発電方法について、資料を基に考えたことを友達と交流させることで、自分の考えを広げることができる。 【発言・活動の様子、付箋紙の記述】</p> <p>□…自分の考えを見返させ、代表者の考えと異なる点を指摘することで、進んで意見を交流させることができるようにする。</p> <p>☆…友達の考えの中から良いと感じられるものを進んで探すように促すことで、より考えを広げることができるようにする。</p>		
10分	4 全体でふり返りを行う。	○ 話し合いが終わったら、「考え交流シート」を見直して、良いと思った友達の考えを「自分の考えシート」に書かせる。

・青…賛成、赤…反対、黄…質問、緑…回答
 ・関連する付箋紙同士を矢印で結んで、それぞれの考えの関連性が分かるようにする。
 ・考えが重複した場合は、少しずつ重ねて貼るようにする。

- | | | |
|--|--|--|
| | | <ul style="list-style-type: none">○ 話し合ったことを踏まえて、再度自分の考えを書かせる。○ はじめの考えと終わりの考えを比較して、どのように変わったか、どうして変わったかを発表させる。○ 友達と意見交流をしたことについてどう感じたかふり返らせ、記述させる。 |
|--|--|--|

※斜体・・・情報活用能力を育成する学習活動